

物流マネージャー育成講座



経験豊富な講師と充実した模擬試験で『ロジスティクス管理3級』合格100%を目指す！

なぜ物流マネージャーの育成が必要なのか？

未曾有の実体経済悪化の下、会社経営の将来を担う中堅社員への十分な専門教育が実施されていないのが実態です。国交省による3PL調査でも、人材育成の問題が最大の弱点と指摘されています。イー・ロジット社「物流管理者育成講座」を活用して、『現場力アップ』を計り、企業競争を勝ち抜く**専門性の高い中堅マネージャー & プロフェッショナル層の育成の実現、物流を企業戦略と捉える思考**で業績UPに繋げましょう。



“安定的に運営する 日常管理運営・マネジメントノウハウの習得”
“競争力ある状態に 改善する実戦的、戦略的な専門知識の習得”

「ロジスティクス管理3級(第2版)」標準テキスト+内容豊富なオリジナル教材をお配り致します。

ビジネス・キャリア検定試験とは？

ビジネス・キャリア試験は、平成6年度以降、厚生労働大臣認定講座修了者等を対象とした「教育訓練の成果確認試験」として実施してまいりましたが、平成19年度からはビジネス・パーソンを対象とした**「公的資格試験」(能力評価試験)**にリニューアルいたしました。新試験につきましては、試験名称を「ビジネス・キャリア検定試験」に改め、企業の人材マネジメントに、また、ビジネス・パーソンのキャリアアップに、一層お役に立てるよう、旧ビジネス・キャリア試験単位のユニットを企業の職務内容に対応して大括り化し、職務遂行に必要な実務能力を評価するため試験問題を質量ともに拡充するなど、従来にも増してより企業実務に即した専門的知識・能力を客観的に評価できる試験として実施しています。

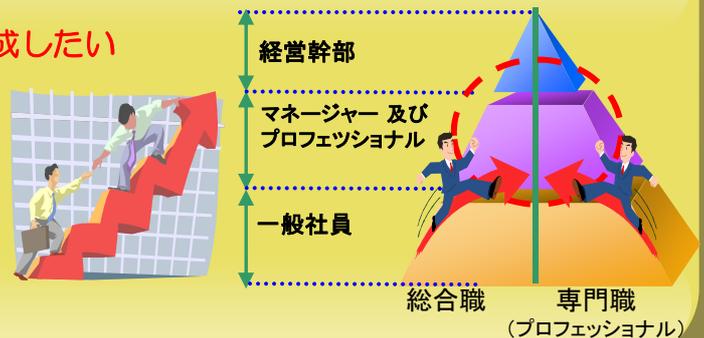
特に3級の試験は、職務全般に関する幅広い専門知識を基に、担当者として上司の指示・助言を踏まえ、自ら問題意識を持ち定例的業務を確実に遂行することができる人材をターゲットとしています。

(例えば、係長、リーダー等を目指す人、又は担当職務を的確に遂行できることを目指す人)

※中央職業能力開発協会(JAVADA) ホームページ <http://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/>

講座参加対象者

- ・将来のマネージャーやエキスパートとして育成したい中堅社員の皆様
- ・コンサルタントやエキスパートとして、自己の専門知識を高め、「物流プロフェッショナル」を目指す方



★イー・ロジット『物流マネージャー育成講座』 5大特長★

1. 物流現場マネジメントに必要な**幅広い専門知識**を体系的に学びます。習得の証として、公的資格試験「ロジスティクス管理3級」**100%全員合格**を目指したサポート指導を行います。
2. 業界でNo1の圧倒的な低価格な講義費用です！！(※他社と比較して頂いて構いません！！)
3. 企業の発展に貢献できるマネージャー&プロフェッショナルを育成するため、**実務に即役立つ専門知識の理解**を目指し、**豊富な副教材や写真、映像を使って説明**します。
4. 単なるテキスト知識講義ではなく、講師の『現場長』実体験に基づく、**CS顧客満足&ES従業員満足**、そして**経営戦略視点に裏打ちされた実戦的な講義**を学べます。
5. 週末の**第4金曜日開催**の為、集中してロジスティクスを学べます。

関西第3期物流マネージャ育成講座 全4回ガイドライン

単元	学習章	講義日時	学習節	学習項	サブ項目
Ⅰ. ロジスティクス管理の概要	1. 物流の概念と物流管理 【テキスト第1章】p1	6月24日	(1) 物流の基本概念p2	イ. 物流の基礎p2 ロ. 企業経営と物流p12 ハ. 物流とロジスティクスp9	①流通と物流p2 ②物流の機能p4 ③企業における物流活動p12 ④物流効率化の変遷p13 ⑤流通構造の変化と物流p15 ①ロジスティクスの基礎p9 ②企業経営活動との関連p10 ③ロジスティクスの使命p10 ④経営環境変化とSCMp11 (サプライチェーン・マネジメント)
			(2) 物流管理の基礎知識p17	イ. 物流管理サイクルの概要p17 ロ. 物流管理の領域p19	①マネジメントとコントロールp17 ②評価-戦略-実行-評価p17 ①物流サービスp19,p31 ②物流システムp19,p103 ③-1物流生産性管理p19,p103 ③-2物流コスト管理p20,p119 ③-3在庫p20,p168 ④安全管理p20,p55 ⑤環境対応p20,p55
			(3) 物流と関連部門との関わりp21	イ. 関連部門の関わり(企業内・企業外)p21 ロ. 対外活動等の基礎知識p27 (行政、地域、学会、団体等) イ. 顧客満足と物流サービスp32 ロ. 物流が提供するサービスと管理のポイントp34 イ. ベンチマーキングp37 ロ. 現状分析p38 ハ. サービスレベルの設定p39 ニ. 評価とフォローアップp40	
			(1) 物流サービスの基本概念p32	イ. 顧客満足と物流サービスp32 ロ. 物流が提供するサービスと管理のポイントp34	
			(2) 物流サービス管理のステップp37	イ. ベンチマーキングp37 ロ. 現状分析p38 ハ. サービスレベルの設定p39 ニ. 評価とフォローアップp40	
			(3) 物流における品質管理の基礎知識p41	イ. 物流品質管理のポイントp41 ロ. QC7つ道具p45	①納期p42 ②正確性p42 ③貨物品質p43 ④事故防止p44 ⑤印象p44 ⑥環境対応p45 ⑦その他 ①グラフp46 ②バレット図p47 ③特性要因図p48 ④チェックシートp49 ⑤散布図p51 ⑥ヒストグラムp52 ⑦管理図p50
	2. 物流サービス管理 【テキスト第2章】p31	7月22日	(1) 我が国の物流政策の動向p56 (2) コンプライアンス(法令遵守)とロジスティクスp63	イ. コンプライアンスの重要性p63 ロ. 法令の種類と基本用語の意味p67	①ロジスティクスと法令との関わりp63 ②コンプライアンスの管理体系p64 (会社との関わり、ロジスティクス部門内における管理体系)
			(3) 物流活動に関わる各種法律の基礎知識p68	イ. 労働・調達関連法規p68 ロ. 道路交通関連法規p81 ハ. 運輸・倉庫関連法規p84 ニ. 環境等関連法規p92	①労働基準法p69 ②労働者派遣法p71 ③労働安全衛生法p74 ④消防法p74 ⑤下請代金支払遅延等防止法p78 ①道路交通法p81 ②道路運送車両法p82 ③道路法(車両制限令)p82 ①貨物自動車運送事業法p84 ②貨物利用運送事業法p89 ③倉庫業法p90 ①温暖化対策関連法規p92 ②物流効率化関連法規p98 ③循環型社会形成推進基本法p96 ④廃棄物処理関連法規p96 ⑤大気汚染対策関連法規p94
			(1) 物流システムの基礎知識p104	イ. 輸送モードの種類と特徴p112 ロ. 拠点のタイプと特徴p109 ハ. 倉庫内作業の種類とフローp115 ニ. メーカー・流通業の物流システムのタイプp127 ホ. 特別積み合わせの物流システムの概要p113	
			(2) 物流データ分析p135	イ. 物流システム設計と物流データp135 ロ. 物流システム構築のためのデータ分析の考え方p137 イ. 物流拠点設計の考え方p143 ロ. 拠点立地選定手法(重心法等)p144	
			(3) 物流拠点設計p143	イ. 委託先管理の目的p150 ロ. 委託先管理のプロセスp154	
			(4) 委託先管理p150	イ. 共同輸配送p157 ロ. 拠点集約p162	
Ⅱ. 在庫・システム・コスト管理の概要	1. 物流システム管理 【第4章】p103	8月26日	(1) 在庫管理の目的p168	イ. 顧客サービスp168 (必要ときに必要なものが提供できる管理等) ロ. 効率化(過剰在庫の排除、積物一致等)p170 イ. 入出庫及び在庫管理p173 ロ. 在庫管理システムp176 イ. 適正在庫量の決定要素p178	①需要変動p178 ②リードタイムp180 ③その他p181
			(2) 在庫管理手法p173	ロ. 安全在庫と補充量の考え方p181	
			(3) 適正在庫量の決定p178	イ. 在庫保有量の評価指標p185 (在庫回転率、在庫保有日数) ロ. 在庫分析の代表的手法とその活用p187	①流動数曲線p188 ②ABC分析p187 ③在庫鮮度分析p189
			(4) 在庫分析p185	イ. 棚卸の意義p191 ロ. 棚卸の方法p193	①一斉棚卸p194 ②循環棚卸p194 ③帳簿棚卸p193
			(5) 棚卸p191	イ. 物流コストの構成要素p200 ロ. 財務会計と管理会計の違いp202 ハ. 財務会計における物流コスト把握の問題点p202 ニ. 官庁による物流コスト計算マニュアルの存在とその内容p203 ホ. 公的団体における物流コスト調査p203	
			(1) 物流コストの基礎知識p200	イ. 届出制運賃の体系p207 (条件に基づいた運賃計算を含む) ロ. 届出制営業倉庫料金の体系p213 (条件に基づいた保管料計算を含む)	
	2. 在庫管理 【第5章】p167	9月23日	(2) 運賃・倉庫料金体系と計算方法p207	イ. 財務会計における費目と物流コストの関係p218 (条件に基づいた物流コスト計算を含む) ロ. 輸送原価の内容と計算方法p224 (条件に基づいた輸送原価計算を含む)	
			(3) 物流コストの計算方法p218	イ. サービスレベルと物流コストp227,p33 ロ. 拠点数と物流コストp227,p144 ハ. 在庫削減と物流コストp228 ニ. 環境対策と物流コストp231	
			(4) 物流におけるコストトレードオフp227	イ. 物流情報システムの目的と特徴p236 ロ. 物流情報システムの目的p238 ハ. 物流情報システムの特徴p238	
			(1) 物流情報システムの目的と特徴p236	イ. 物流情報システムの階層p241 (戦略・計画、管理、業務) ロ. 物流情報システムの階層と構成p242 ハ. 物流情報システムと基幹システムとの関連p244 イ. 物流情報システムの設計ステップp247 ロ. 物流情報システムの設計ポイントと留意点p249 (関係体制、スケジュール、機器の選定等)	
			(2) 基幹システムと物流情報システムとの関連p241	イ. オーダーエントリーの種類と処理p254 ロ. 出荷情報処理p257 ハ. オーダー管理p257 イ. 発注の種類p259 ロ. 発注処理p260	
			(3) 物流情報システム設計の基本p247	イ. 在庫受払処理p263 ロ. ピッキング・仕分け処理p266 ハ. 作業管理(実績管理等)p270 イ. 配送・配車計画p273 ロ. 運行管理p275 ハ. 荷物追跡管理p277	
3. 物流コスト管理 【第6章】p199	9月23日	(1) 物流情報システムの概念 【第7章】p235	イ. オーダーエントリーの種類と処理p254 ロ. 出荷情報処理p257 ハ. オーダー管理p257 イ. 発注の種類p259 ロ. 発注処理p260		
		(2) 業務別物流情報システム 【第8章】p253	イ. 在庫受払処理p263 ロ. ピッキング・仕分け処理p266 ハ. 作業管理(実績管理等)p270 イ. 配送・配車計画p273 ロ. 運行管理p275 ハ. 荷物追跡管理p277		
		(1) 受注処理システムの基礎知識p254	イ. 在庫受払処理p263 ロ. ピッキング・仕分け処理p266 ハ. 作業管理(実績管理等)p270 イ. 配送・配車計画p273 ロ. 運行管理p275 ハ. 荷物追跡管理p277		
		(2) 発注処理システムの基礎知識p259			
		(3) 倉庫管理システムの基礎知識p263			
		(4) 輸配送管理システムの基礎知識p272			
Ⅲ. 物流情報システムの概要	9月23日	(1) 物流情報システムの概念 【第7章】p235	イ. 在庫受払処理p263 ロ. ピッキング・仕分け処理p266 ハ. 作業管理(実績管理等)p270 イ. 配送・配車計画p273 ロ. 運行管理p275 ハ. 荷物追跡管理p277		
		(2) 業務別物流情報システム 【第8章】p253			
		(1) 受注処理システムの基礎知識p254			
		(2) 発注処理システムの基礎知識p259			
		(3) 倉庫管理システムの基礎知識p263			
		(4) 輸配送管理システムの基礎知識p272			

平成28年度 前期 ビジネス・キャリア検定「ロジスティクス管理3級」試験概要

項目	日時・内容・受験料	備考
①受験申請受付期間	平成28年4月15日(金)～平成28年7月27日(水) 7月22日(金)に受験申込書と受験料をご持参下さい。	イー・ロジットにて一括申請を行います。
②試験実施日	平成28年10月2日(日)	
③試験実施時間 【午後】	14:30～16:20 集合時間:開始30分前までには会場入りしてください。	試験は各都道府県の会場で受験できます。
④出題形式	多肢選択問題(4肢択一) 40題	
⑤試験時間	110分	
⑥合否基準	得点率概ね60%以上で合格。	
⑦受験資格	受験制限無し	どなたでもお申込み頂けます。
⑧受験料	5,660円(税込) 予定	自己負担となります。
⑨結果発表日	平成28年11月4日(金)	
⑩合格証書発送日	平成28年12月以降	

★★受講生の声★★

●物流といっても、業種業態ごとに様々な物流があり、この講座に参加したおかげで広い視点で、物流を学ぶことができました。また、参加者同士で名刺交換したりして違う業種の物流管理の話やヒントを聞いて学ぶ機会が多かったです。一度は、独学でロジスティクス管理3級を受験しようと思いましたが、やはり、本だけではわからない知識など、参加している仲間や講師の先生から学ぶことができ、参加して良かったです。

●自社の物流現場で、物流コストの削減に取り組まなくてはならず、どうしても困ってこの講座を受講することに決めました。講座では、物流管理の基礎から、改善につながるヒントなど、実践で生かせる内容が多かったです。物流管理のノウハウやテクニックだけではなく、現場の人とのコミュニケーションの取り方なども学べて大変勉強になりました。

●物流会社で働いているものの、物流の知識というと会社の先輩に教わった程度でアパレルの物流しか知らない状態でした。アパレル以外の食品や製造業や通販など様々な物流を学ぶことで、自社の物流についてもよく理解することができました。今後は、SCMを意識して、物流についてもっと勉強しようと思っています。イー・ロジットの講師の皆様には感謝しています。

★★講師のご紹介★★



株式会社イー・ロジット コンサルタント 宮野 雅則

<経歴> 大手物流会社で10年勤務後、2000年6月、株式会社イー・ロジットへ入社。設立間もない同社で社内業務体制の整備や通販向け配車・倉庫管理システム、物流経理システムを構築。コンサルティング部部長を経て現在はロジスティクスコンサルタントとして物流サービス及び品質の向上、コスト改善、作業効率化のための業務改善指導を中心に企業活動をサポート。ここ数年は、製造兼卸売業での改善指導が多い。講師活動においては基調講演、企業研修、集合研修で、年間30本程度受け持つ。

<著書> 図解「基本からよくわかる物流のしくみ」日本実業出版社 (共著) 角井亮一監修 2014年2月出版

<資格> 運行管理者(旅客・貨物)

関西第3期 物流マネージャー育成講座 お申込書

■ 会 場

●大阪産業創造館 5Fまたは6F

大阪府大阪市中央区本町1-4-5

※当日の部屋は入口付近の電光掲示板に表示されます

●交通のご案内

大阪市営地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町駅」より徒歩3分



■ 受講料 (NP後払い)

1社2人目以降は、
1名様につき20%引
4回まとめて受講が
大変お得!!

イー・ロジットクラブ会員企業様

1回の受講価格 **32,400円** (税込) /人

⇒ **16,200円** (税込)

一般価格の50%引!
1社2人目以降は更に
20%引! 超お得です

全日程受講割引 **108,000円** (税込) /人

⇒ **54,000円** (税込)

●申込み方法: 下記弊社WEBサイトより必要事項をご記入のうえお申し込み下さい。お申込み順に承ります。

受付後、受講票・請求書・会場地図を代表参加者様に送付させていただきます。

●お支払い: NP後払い(集金代行)を利用致します。月末締め、翌月末迄払いとなります。クレジットはWEB。

●その他: 参加者には、「ロジスティクス管理3級」と「図解 基本からよくわかる物流のしくみ」の2冊の書籍を贈呈。

●募集人員: 定員20名(最小催行人員5名) ※定員になり次第締め切らせて頂きます。

●申込サイト: <http://www.e-logit.com/seminar/2018kansai-mj.php>

FAXでお申込は下記をご記入後 **FAX 03-5825-1721** へ

御社名			
御住所	〒() (住所)		
TEL		FAX	
お申込者様名 (請求書送付先)	様	部署	
E-mail		御役職	
受講者様名	①	②	③
業種 該当業種に☑	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> IT関連/ソフトウェア <input type="checkbox"/> 物流関連 <input type="checkbox"/> その他()		
ご希望日程に☑ 願います	①全日程受講⇒ <input type="checkbox"/> 全日程 ②特定日受講⇒ <input type="checkbox"/> 6月24日 <input type="checkbox"/> 7月22日 <input type="checkbox"/> 8月26日 <input type="checkbox"/> 9月23日		
弊社からの情報 提供	<input type="checkbox"/> 希望しない	物流最大メルマガ 配信	<input type="checkbox"/> 希望しない

株式会社イー・ロジット 関西第3期 物流マネージャー育成講座 セミナー事務局/宮野

TEL: 06-4308-8977 FAX: 03-5825-1721 (←東京でOKです)

[e-Logit.com](http://www.e-logit.com)

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西1-5-40

ご記入いただいた個人情報は、当該セミナーの運営と、弊社サービスに関する案内資料の送付にのみ利用させていただきます。[個人情報保護に関する記載事項] 事業者名: 株式会社イー・ロジット。問合せ窓口: 代表取締役 角井亮一。個人情報に関する問合せ手段: 本人または代理人により、上記問合せ窓口宛、自由形式書面にて、お問合せください。ご本人様からの問合せであることを確認のうえ、回答をさせていただきます。